

新年度予算 5つの柱に取り組みます。

3

月議会において可決された、平成29年度当初予算の内容をお知らせします。本年度は、次の5つの重点項目を柱に、本年度が最終年度となる第一総合計画における将来都市像実現に向けた事業や、市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた施策を中心に事業に取り組みます。

5つの柱

- 1 健康長寿のまちづくり
- 2 豊かな人を育むまちづくり はぐく
- 3 活力あふれるまちづくり
- 4 環境を守り、安全・安心なまちづくり
- 5 協働によるまちづくりと行政サービスの向上

一般会計の予算額は

413億7千万円

昨年より13億3000万円、3.1%減額。

歳入

税については、115億8084万円を計上しました。個人市民税現年度分は6200万円の増額を見込みますが、法人市民税現年度分は前年と同額を見込みました。また固定資産税現年度分は、評価結果などから1億円の増額を見込んでいます。

地方交付税は、100億5000万円を計上しました。地方財政対策や合併算定替えの割落としなどにより、8億5千万円の減額を見込みました。

基金繰入金は、25億813万円を計上しました。財政調整基金9億円、公共施設整備基金8億6千万円、また、特定目的基金は、三郷図書館建設事業基金2億906万円、霊園整備基金3261万円、山岳環境整備基金2318万円の繰入などです。地方債は、53億8480万円を計上しました。三郷北部、明科南、たつみ認定こども園建設事業で10億5

歳出

990万円、文書館等整備事業2億8040万円、三郷交流学習センター建設事業で3億7340万円、しやくなげの湯周辺整備事業で2億1590万円などです。また、臨時財政対策債は15億5千万円で前年比5千万円の増額です。前年度と比較すると9690万円、1.8%の増額となります。

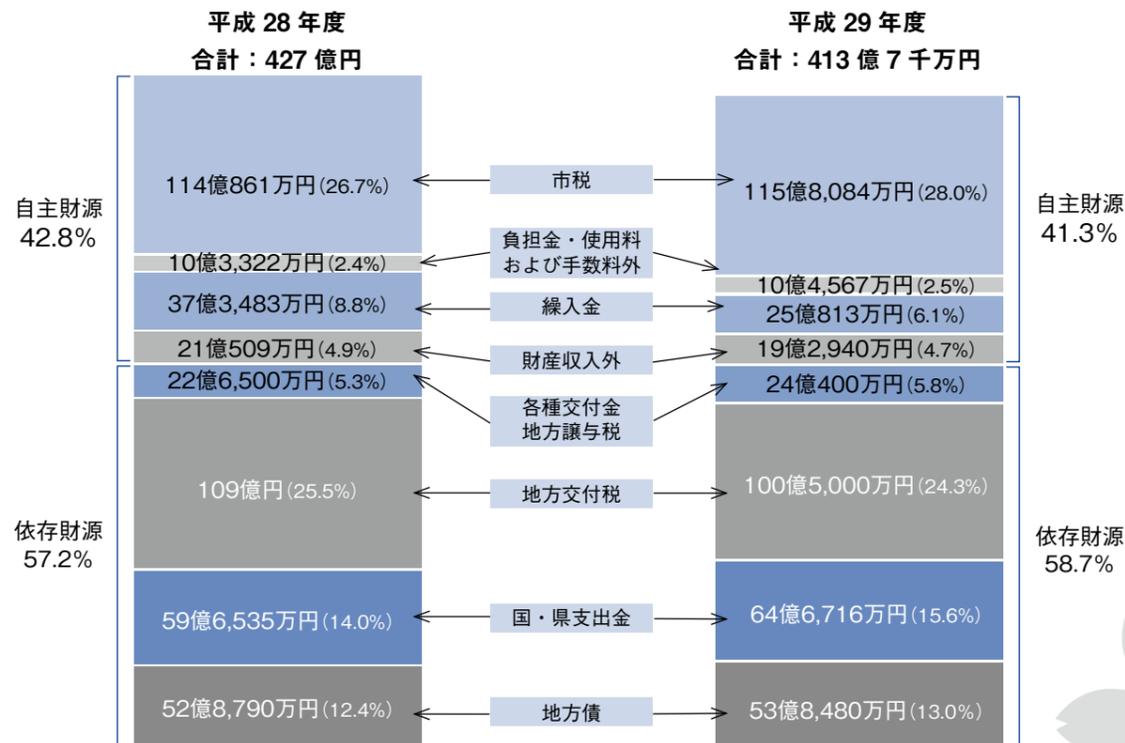
一般会計の歳出について、性質別および目的別のグラフを次ページに示しました。また、主な内容については次のとおりです。

● 性質別にみる歳出

人件費 (56億2234万円)

人件費は、前年比8768万円の減額となりました。職員給料、手当、共済等の減額、議会改選後の定数減に伴う議員報酬・手当の減額などです。

歳入予算の増減



平成 29 年度安曇野市各会計予算額一覧

単位：千円

会計名	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年度比	対前年度比率 %
一般会計	41,370,000	42,700,000	△ 1,330,000	△ 3.1
特別会計	22,414,357	22,514,854	△ 100,497	△ 0.4
国民健康保険	12,217,500	12,502,701	△ 285,201	△ 2.3
後期高齢者医療	1,039,600	1,032,502	7,098	0.7
介護保険	9,053,828	8,855,021	198,807	2.2
上川手山林財産区	2,514	2,512	2	0.1
北の沢山林財産区	821	1,118	△ 297	△ 26.6
有明山林財産区	1,143	1,150	△ 7	△ 0.6
富士尾沢山林財産区	964	975	△ 11	△ 1.1
穂高山林財産区	1,482	1,487	△ 5	△ 0.3
産業団地造成事業	80,301	85,224	△ 4,923	△ 5.8
観光宿泊施設	16,204	32,164	△ 15,960	△ 49.6
総計(一般会計+特別会計)	63,784,357	65,214,854	△ 1,430,497	△ 2.2
公営企業会計				
収益的収入	2,336,825	2,321,106	15,719	0.7
収益的支出	2,009,851	2,078,922	△ 69,071	△ 3.3
資本的収入	242,193	75,166	167,027	222.2
資本的支出	1,581,868	1,343,759	238,109	17.7
水道事業会計				
収益的収入	4,029,779	4,111,116	△ 81,337	△ 2.0
収益的支出	3,895,290	3,950,991	△ 55,701	△ 1.4
資本的収入	1,070,593	993,977	76,616	7.7
資本的支出	2,549,176	2,501,039	48,137	1.9
下水道事業会計				